

12V/24Vジャンプスターター

取扱説明書(保証書付)

KG-201



カイセ株式会社

このたびは、12V/24VジャンプスターターKG-201をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の十分な活用と安全なご使用のために、取扱説明書はいつも手元におき、よくお読みいただいたうえでご使用ください。

もくじ

安全上のご注意	1～6
使用上のご注意	7～8
構成部品一覧表	9
本体・付属品各部の名称と働き	10～13
仕様	14
使用方法	
1. LCD表示	15
2. 12V/24Vジャンプスタート	16～20
3. USB 5V 出力	21～22
保守管理	
1. 本体の充電	23～24
2. 保管方法	24～25
3. 部品交換	25
故障かな?という場合に	26～28
品質保証規定	29
品質保証書	30
お問い合わせ先・ホームページのご案内	31

安全上のご注意 (必ずお守りください。)

取扱説明書には、お使いになる人や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

- 表示内容を見逃して、誤った使い方をしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の絵表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し説明しています。
(下記は絵表示の一例です。)



この絵表示は、注意(警告を含む)しなければならない内容です。



この絵表示は、禁止(やってはいけないこと)の内容です。



この絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。



警告

小さいお子様の手の届かない場所で使用、保管する
事故やけが、感電の原因となります。



使用後は必ず、ケーブルを抜いて保管する
事故やけが、感電の原因となります。



本体から電解液が漏出している場合や異臭がする時には直ちに
火気より遠ざけて使用を中止する
本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。



本製品に異常を感じたら、直ちに使用を中止する
本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。



安全上のご注意 (必ずお守りください。)

警告

本体から電解液が漏出している場合は、直接触れない。
万一皮膚に付着または目に入った時は、こすらずに水道水などの
きれいな水で十分洗った後、直ちに医師の診察を受ける
失明や皮膚に障害を起こす原因となります。



エンジン始動後やエンジン始動に失敗した場合は、ファンクションスイッチを
OFFの位置にして、すみやかにジャンプスターターケーブルを取り外す
本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。



USB出力による携帯端末などの充電終了後は、本体と被充電機器
との接続をすみやかに解除する
本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。



充電プラグ、USBコネクタは根元まで確実に差し込む
ホコリによる火災や感電の原因となります。



本体を充電する際は、当社指定の充電器を使用し、当社指定の充電条件を守る
本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。



本体の充電完了後は、すみやかに充電器を外す
本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。



本体の充電は温度が0～40℃の環境で行う
本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。



本体の充電時間を過ぎても充電が完了しない場合は充電を中止する
本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。



市販ソーラーパネルを使用して充電を行う場合、充電プラグが本製品の入力端子形状
に合ったものを使用し、本体は天候変化の影響を受けない場所において充電を行う
本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。



USB5V出力の際、使用する機器記載の注意事項を厳守する
本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。



本体は水平で安定した場所に置き、蓋を完全に開いて表示パネルが
上向きの状態で使用・充電する(縦置き状態で使用・充電しない)
本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。



安全上のご注意 (必ずお守りください。)

警告

万が一、本製品が発火した場合は消火器を使って消火する 発火時に水をかけると感電の原因となります。	
ジャンプスタートの際、ファンクションスイッチを正しい位置 (12Vまたは24Vジャンプスタート)に合わせる 事故や感電、火災、本製品や自動車の故障、破損の原因となります。	
手やケーブルなどがぬれた状態で本製品を使用しない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。	
風呂場やプール、海など水没の危険がある場所では使用しない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。	
ガソリン・オイルなど可燃物の周辺や法令で第一類・ 第二類危険箇所に指定されている場所では使用しない 火災や引火・爆発する原因となります。	
可燃物や重いものを乗せたり、毛布や座布団で覆ったり包んだりしない 発熱、発火、破裂、液もれの原因となります。	
本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器などに使用しない 事故、火災、ケガの原因となります。	
本製品を接続した状態で車を走行させない 事故や感電、火災、本製品や自動車の故障、破損の原因となります。	
暗い場所で作業を行わない 事故や感電、火災、本製品や自動車の故障、破損の原因となります。	
付属品に水分がついた状態および、本体ケース内部に水分が ついている状態でケースの蓋を閉めて保管しない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。	
ぬらしたりしない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。	
海水などが本体内部や付属品に付着し塩害を受けるおそれのある 所で使用しない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。	

安全上のご注意 (必ずお守りください。)

警告

故障のまま使用しない

スイッチが操作できないなどの故障の状態で使用しないでください。すぐに使用を中止してカイセ株式会社製造サービス課へお問い合わせください。そのまま使用すると本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。



端子類を指で触れたり異物を入れない

本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。



本体内部、ケーブル類に異物を入れたり差し込んだりしない

本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。



直射日光が当たる場所や、夏季の車両内など気温45℃を超える環境および湿度70%を超える環境で保管しない

本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。



分解や改造はしない

本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。



ケーブルの被覆が破れた状態で使用しない

本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。



加熱したり、火や水の中に入れない

本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。



ストーブなど熱源に近づけない

本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。



付属品のコード類を束ねたまま使用しない

本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。



付属品以外のケーブル・アダプターや指定された充電入力範囲外の機器を使用しない

本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。



本製品付属品を本製品以外に使用しない

本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。



本体・付属ケーブル・付属充電器を落下させたり、衝撃を与えない

本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。



使用時および充電時に、たばこなどの火気を近づけない

本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。



安全上のご注意 (必ずお守りください。)

警告

木くず、紙、布など可燃物のある場所で使用および充電をしない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。	
可燃性の気体や液体のある場所で使用および充電をしない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。	
端子の両極性を金属で接続しない また、ネックレスやヘアピンなどと一緒を持ち運んだり、保管しない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。	
本製品の出力端子同士や本製品の出力端子と他製品の出力端子を接続しない 感電、火災、発熱、発火、破裂、ケガの原因となります。	
電子レンジや高圧容器に入れない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。	
ペットなどの動物に本製品を触れさせない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。	
ジャンプスターターケーブルの赤と黒のクリップを同一端子への接続、 逆接続および車両との接触をさせない けがや事故、火災、車両故障および本体故障の原因となります。	
本製品を接続した状態で、3秒以上クランキングを行わない 一度この条件でエンジン始動に失敗した場合は、使用を中止してください。 そのままクランキング動作を行うと、発火、破裂、漏液の原因となります。	
車両に対して本製品を単体で接続した状態でエンジンを始動しない 本製品は車両バッテリーの応急補助製品であり、車両バッテリーの代わりとしては使用できません。	
ジャンプスタート以外でジャンプスターターケーブルを本体に接続しない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。	
本製品を取扱説明書記載の使用以外の方法以外を使用しない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。	
梱包用の袋および通気の妨げになる物に本体を入れて使用しない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。	
満充電の状態で充電をしない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。	

安全上のご注意 (必ずお守りください。)

警告

極度に劣化または深放電しているバッテリーおよび故障バッテリーのジャンプスタートをしない

本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。



AC充電器は指定された電源電圧以外の電圧で使用しない(日本国内のみ)

AC充電器の指定電源電圧は交流100～240Vです。直流電源および日本国外で使用しないでください。感電、火災、発熱、発火、破裂、ケガの原因となります。



AC充電器を屋外で使用しない

感電、火災、ケガの原因となります。



本体の充電をしながら本製品を使用しない

本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。



付属ワイヤーブラシをプリスターパックから出した状態で

本体ケース内に保管しない

ケーブルの被覆を破いたり、端子をショートさせる原因となります。



本体ケースの蓋を開けたまま保管しない

本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。



本体ケース内に、付属ケーブルの被覆などを傷つけるおそれのある物を収納しない

本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。



本体ケース蓋部のゴムパッキンに異物が付着した状態、傷が付いたり劣化した状態、ゴムパッキンを押さえる突起部に傷がある状態で使用しない

本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。



本体ケースの開閉部合わせ目に、物が挟まった状態で保管しない

本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。



本体や付属ケーブルがエンジンなどに巻き込まれないように注意する

本体・車両故障、けがの原因となります。



蓋の開閉時や強風時は、蓋での手の挟み込みや、本体接続機器の破損に注意する

本体や接続機器の故障、怪我の原因となります。



本製品の取り扱いを誤ったことによる人的被害、車両や車載品、使用機器などの事故や破損、損害が発生した場合、弊社では一切の責任を負いかねます。また保証対象外となります。

使用上のご注意

- 本製品は、本体の蓋を完全に閉じロックした状態でIP67の防塵・防水仕様となります。
- アルコールを含む液体で本製品をふかないでください。変色やひび割れの原因となります。
- 高い電磁環境に近づけないでください。本体の損傷や動作不良の原因となります。
- 長期間使用しない場合は、3ヶ月ごとに充電を行ってください。
- 各出力／入力端子使用時以外は、本体の蓋を閉じてください。
- 本体の蓋を閉じる際は、ファンクションスイッチがOFFの位置であることを確認してください。
- ジャンプスターターケーブルの接続は、クリップ(赤)、クリップ(黒)の順番で接続してください。解除はクリップ(黒)、クリップ(赤)の順番で行ってください。
- ジャンプスタートに失敗した場合は、ジャンプスタートを中止してください。本製品の出力電流仕様を超えているか、バッテリー上がり以外の原因が考えられます。そのままジャンプスタートを行った場合、本体故障の原因となります。
- 連続してジャンプスタートを行う場合は、必ず10分以上間隔をあけてください。
- ジャンプスタートの際は、必ずファンクションスイッチを設定後に車両との接続を行ってください。
- 本体の出力と入力を接続しないでください。発熱、液もれ、故障の原因となります。
- 本体内蔵バッテリーは使用方法や保存方法によっては、著しく劣化する場合があります。内蔵バッテリーの劣化による不具合は、保証の対象外となります。
- 対応車であっても、車両の状態、車両の仕様、環境によってはジャンプスタートできない場合があります。
- ご使用の際は、本体を平らな安定した場所に置いて使用してください。
- 充電器を本体に接続した状態で本製品を使用しないでください。
- 市販のソーラーパネルを使用して充電を行う場合、出力電圧が14V～25V以内の製品を選択し、充電プラグが本製品の入力端子形状に合ったものを使用して、本体は天候変化の影響の受けない場所に置いて充電を行ってください。
- 海水などが本体内部や付属品に付着する可能性のある場所で本製品を使用しないでください。塩害により故障や腐食が発生する可能性があります。
- キャリアハンドルを持って本体を移動させる場合は、蓋のロックをしてください。

使用上のご注意

- 付属品に水分が付着している場合は水分を拭き取り、水分を完全に乾かしてからケースに収納してください。また、ケース内に水分が侵入した場合は、水分を拭き取りケースの蓋を開けた状態で放置し、水分が完全に乾いたことを確認してから蓋を閉じてください。水分が付着した状態で蓋を閉めた場合、基板腐食などの故障につながります。
- ワイヤブラシはプリスターパックから出した状態で本体ケース内に保管しないでください。また、本体ケース内部に付属品のケーブル被覆などを傷つけるおそれのある物を一緒に収納しないでください。被覆を傷つけ断線させたり、端子をショートさせる原因となります。
- 防塵・防水性能は永続的なものではなく、使用や保管とともに徐々に劣化します。
- 本体ケース蓋部のゴムパッキンに、オイルなどのゴムを劣化させる液体や薬品を付けないでください。ゴムパッキンが汚れたときは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。ゴムパッキンに異物が付着していたり、傷などがついていると防塵・防水性能が保てません。ゴムパッキンが劣化した場合は、交換が必要になります。
- 本体ケースのゴムパッキンを押さえつける突起部に傷をつけないようにしてください。傷がついて隙間ができた状態では防塵・防水性能が保てません。
- 本体ケースの開閉合わせ目に、物が挟まっている状態で保管しないでください。保管の際は蓋を閉じ、ロックレバーを下げて爪を引っかけ、ロックをしてください。
- 蓋の開閉時や強風時は、蓋での手の挟み込みや、本体に接続している機器の破損に注意してください。本体や接続機器の故障、怪我の原因となります。

取り扱いについて

- 衝撃を与えないでください。
本製品を落下、たたくなどして衝撃を与えると故障の原因となります。
- ケーブルを無理に引っ張らないでください。
ジャンプスターターケーブルなどのケーブル類を外す際など、ケーブルを無理に引っ張ると断線など故障の原因となります。

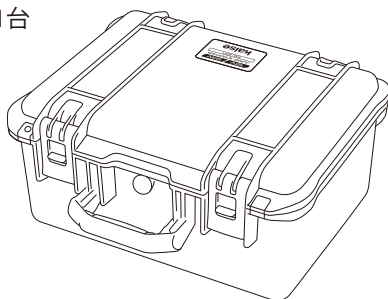
保管場所について

- 下記の場所には保管しないでください。
 - ・ ホコリの多い場所
 - ・ 水のかかるところ
 - ・ 強い衝撃が加わるところ
 - ・ 振動の多いところ
 - ・ 気温-10℃以下45℃以上、湿度70%以上のところ
 - ・ 結露のあるところ
 - ・ 直射日光のあたるところ
 - ・ 塩害、塵灰害、化学性ガス害の受けやすいところ

構成部品一覧表 (ご使用前にご確認ください。)

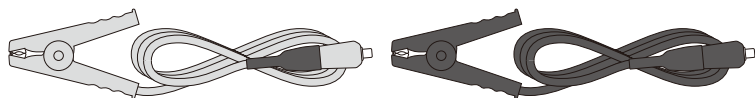
本製品には、下記のものが同梱されています。ご使用前にご確認ください。
万一、不足している場合や破損している場合は、すぐに販売店にご連絡ください。

① 本体…1台

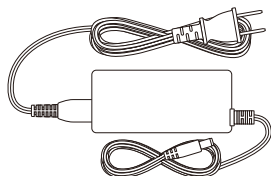


■ 付属品 (本体に収納)

② 804 ジャンプスターターケーブル (赤・黒) …各1本



③ 906 AC充電器…1個



④ 690 ワイヤブラシ…

1組 (3本セット)



銀: 固め

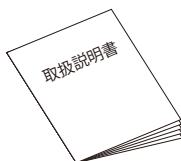


金: 普通



黒: やわらかめ

⑤ 取扱説明書 (保証書付) …1冊



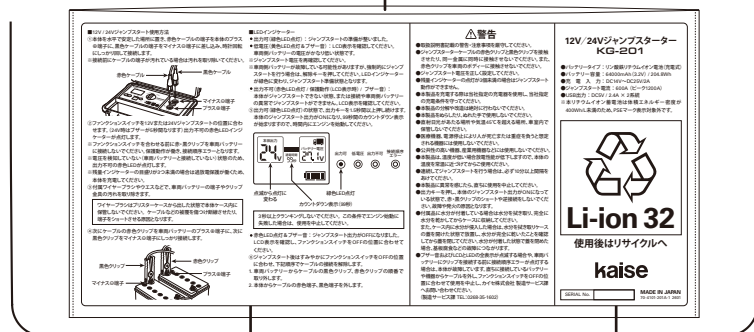
⑥ 警告・注意紙…1枚



本体・付属品各部の名称と働き

■本体蓋裏側

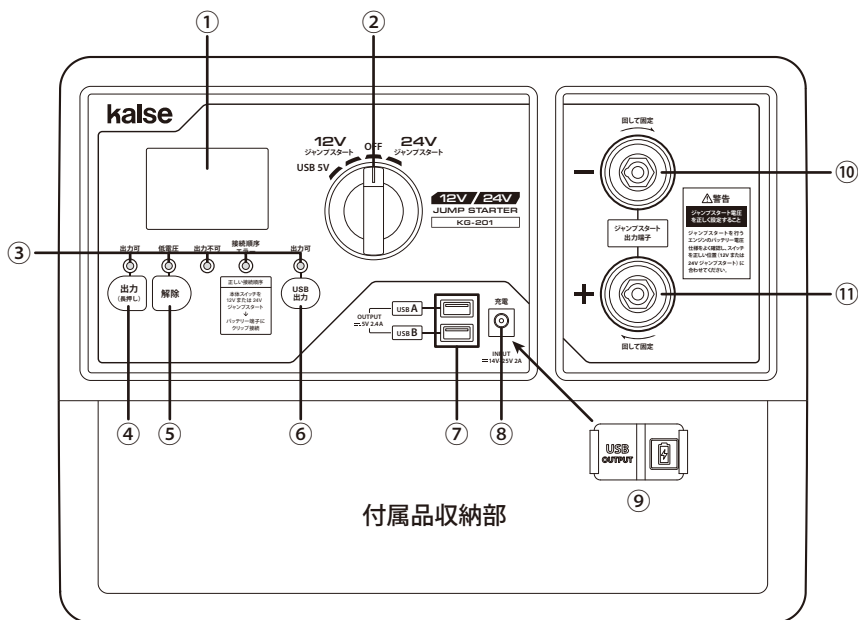
取扱説明書(保証書付)収納部



24Vジャンプスタート使用方法

シリアルナンバー

■表示パネル(本体内部)



本体・付属品各部の名称と働き

①LCD表示器

②ファンクションスイッチ：

- このスイッチを回すことで、12Vジャンプスタート出力機能、24Vジャンプスタート出力機能、USB 5V出力機能、OFF状態（充電機能）を切り替えます。

③LEDインジケーター：

緑色／黄色／赤色LEDにより、状態表示を行います。

- 緑色LED：各出力機能において、出力可能状態または、出力中に点灯します。
- 黄色LED（低電圧）：12Vおよび24Vジャンプスタート出力機能において、車両バッテリー電圧が低い場合に点灯します。（12V：0.2V～8.0V、24V：0.2V～16.0V）

※黄色LED（低電圧）点灯時は接続バッテリーが故障している可能性があります、強制的にジャンプスタートを行う場合は、解除キーを押してください。

- 赤色LED：各出力機能において、出力不可状態の場合に点灯します。
充電機能において充電不可の場合に点灯します。
- 黄色LED（接続順序エラー）：12Vおよび24Vジャンプスタート出力機能において、ファンクションスイッチを合わせる前に、本体と車両バッテリーを接続してしまった場合などに点灯します。

④出力キー：

- 12Vおよび24Vジャンプスタート出力機能において、出力可能状態でこのキーを1.5秒間以上長押しすると、出力を行います。

⑤解除キー：

- 12Vおよび24Vジャンプスタート出力機能において、車両バッテリーが低電圧（12V：0.2V～8.0V、24V：0.2V～16.0V）の場合にこのキーを押すと、出力可能状態になります。

⑥USB出力キー：

- USB 5V出力機能において、出力可能状態でこのキーを押すと、出力を行います。

⑦USB出力端子A および B（DC5V / 2.4A）（端子カバーを外す）：

- 市販のUSB 5V機器を使用する際や、携帯端末などの充電を行う際に、USB Type Aオスプラグを差し込んで使用します。

⑧充電器接続端子（端子カバーを外す）：

- 本体を充電する際に、付属AC充電器や市販ソーラーパネルのDCプラグを差し込んで使用します。

本体・付属品各部の名称と働き

⑨端子カバー（本体装着済）：

- USB出力端子および充電器接続端子を保護するためのカバーです。この端子を使用するとき以外は本体に装着してください。

⑩ジャンプスタート出力端子（－）：

- ジャンプスタート機能を使用する際、ジャンプスターターケーブル（黒）のプラグを接続します。

⑪ジャンプスタート出力端子（＋）：

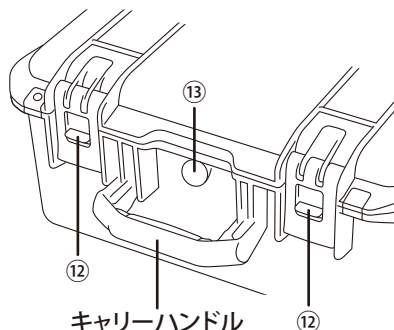
- ジャンプスタート機能を使用する際、ジャンプスターターケーブル（赤）のプラグを接続します。

⑫ロックレバー

- 赤いロックレバーを押し下げてロックを解除し、爪を外して蓋を開けます。
- 蓋を閉めて、赤いロックレバーを押し下げて爪を引っかけた後、赤いロックレバーを戻して蓋をロックします。

⑬圧力調整バルブ

- 本体ケース内の圧力を調整するバルブです。このバルブ部分を塞がないようにしてください。



⚠ 警告／注意

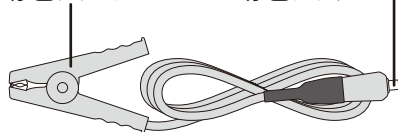
- ブザー音およびLCDとLEDの全表示が点滅する場合や、車両バッテリーにクリップを接続する前に接続順序エラーが点灯する場合は、本体が故障しています。直ちに接続しているバッテリーや機器からケーブルを外し、ファンクションスイッチをOFFの位置に合わせて使用を中止し、カイセ株式会社製造サービス課へお問い合わせください。
- 充電時にブザー音およびLCDに低電圧が表示する場合は、内部の電池電圧が充電できない状態まで低下しています。直ちに接続している充電プラグを外し、使用を中止して、カイセ株式会社製造サービス課へお問い合わせください。
(カイセ株式会社 製造サービス課 TEL:0268-35-1602)

本体・付属品各部の名称と働き

■804 ジャンプスターターケーブル (赤・黒)

赤色クリップ

赤色プラグ

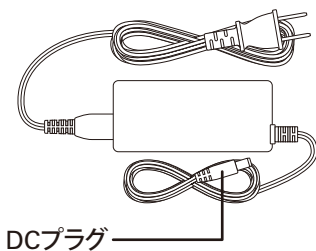


黒色クリップ

黒色プラグ



■906 AC充電器



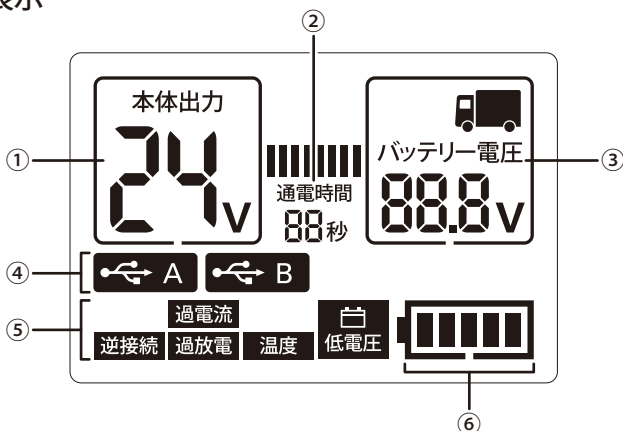
DCプラグ

仕様

バッテリータイプ	リン酸鉄リチウムイオン電池(充電式)
バッテリー容量	6400mAh (3.2V) / 204.8Wh
出力	12Vジャンプスタート出力:DC12V / 600A(ピーク1,200A) 24Vジャンプスタート出力:DC24V / 600A(ピーク1,200A) USB出力A / B:DC5V/2.4A
入力範囲	DC14V～DC25V/2A(充電用入力端子)
ジャンプスタート電流	600A (ピーク1200A) ※600A:3秒以下、ピーク:1200A(新品、満充電、電池温度25℃以上)
ジャンプスタート対応車(目安)	12Vエンジン(ガソリン/ディーゼル):6,000cc以下 24Vディーゼルエンジン:17,000cc以下
出力端子形状	ジャンプスタート出力端子:独自コネクター USB出力端子A / B:USBタイプAメス(端子カバー付き)
入力端子形状	DC2.1メス(端子カバー付き)
本体充電方法	専用充電器(906 AC充電器)、市販のソーラーパネル(出力電圧25V以下)
本体充電時間	約10時間(906 AC充電器の場合)
LEDによる状態表示機能	緑色LED/黄色LED/赤色LED
電池残量インジケーター	LCD上に6段階の電池マークを表示
保護機能	12V/24Vジャンプスタート出力:短絡、逆接続、過放電、過電流、逆電流、 温度、故障検知 USB 5V出力:過電流、短絡、過放電、温度、故障検知 充電:過充電、温度、故障検知
サージプロテクト機能	リレーON/OFF時のサージ電圧を吸収
サイクル寿命(目安)	約2000回 ※使用方法や保管状態によって大きく変化します。充放電サイクル回数を保証するものではありません。
防塵・防水仕様	IP67(ケースを完全に閉じロックした場合)
使用温度	12V/24Vジャンプスタート:-10～45℃(環境温度)、0～45℃(本体温度) USB 5V出力:-10～45℃(本体温度)
充電時温度	0～40℃
保存時湿度	-10～45℃ 70%rh以下(ただし結露のないこと)
寸法	約407mm(W)×約342mm(L)×約193mm(D)※突起部を除く
ジャンプスターターケーブル長	約1.5m
質量	約8.2kg(付属品含む)
付属品	804 ジャンプスターターケーブル(赤・黒)、906 AC充電器、 690 ワイヤブラシ、取扱説明書(保証書付)、警告・注意紙

使用方法

1. LCD表示



①本体出力表示：本体の出力電圧(12V / 24V / 5V)を表示します。

②通電時間表示：

ジャンプスタート時に、通電時間のカウントダウンを表示します。

③車両バッテリー電圧表示：

本体と接続されている車両バッテリーの電圧を表示します。

④5V USB出力表示：USB出力端子(A・B)出力時に表示します。

⑤保護表示：各種保護が働いた際に表示します。

逆接続：プラス(+)とマイナス(-)のクリップが逆に接続されている際に表示。

過電流：過電流を検知した際に表示。

過放電：本体バッテリーの電圧が出力不可能な状態まで低下した場合に表示。

温度：本体バッテリーの表面温度が使用温度範囲外の際に表示。

低電圧：車両バッテリーの電圧が低い場合に表示。

充電故障検知の場合に表示。

⑥残量インジケータ：本体バッテリーの残量を6段階表示します。

	全点灯(100%～81%)		2つ点灯(40%～21%)
	4つ点灯(80%～61%)		1つ点灯(20%～6%)
	3つ点灯(60%～41%)		全消灯(5%～0%) ※点滅

使用方法

2. 12V/24Vジャンプスタート

警告/注意

P1～P6の警告および注意事項をよくお読みのうえ、その内容を厳守してご使用ください。

ジャンプスタートの際は、必ずファンクションスイッチを12Vまたは24Vジャンプスタートに設定後、車両との接続を行ってください。

- ファンクションスイッチを設定する前にジャンプスターターケーブルを車両バッテリーに接続するなど、ジャンプスタート出力端子間に11.5V以上の電圧が印加された状態では、KG-201の保護機能が作動します。保護機能が作動した場合は、一旦、ファンクションスイッチをOFFにし、ファンクションスイッチを設定後に車両接続を行ってください。

保護機能動作時の状態：赤色LED点灯 / 黄色LED (接続順序エラー) 点灯 / LCD消灯 / ブザー音無し

- ジャンプスタート出力端子間に何も接続していない状態、電圧を印加していない状態で上記動作となる場合は本体が故障しています。
直ちに接続しているバッテリーや機器からケーブルを外し、ファンクションスイッチをOFFの位置に合わせて使用を中止し、カイセ株式会社 製造サービス課にお問い合わせください。

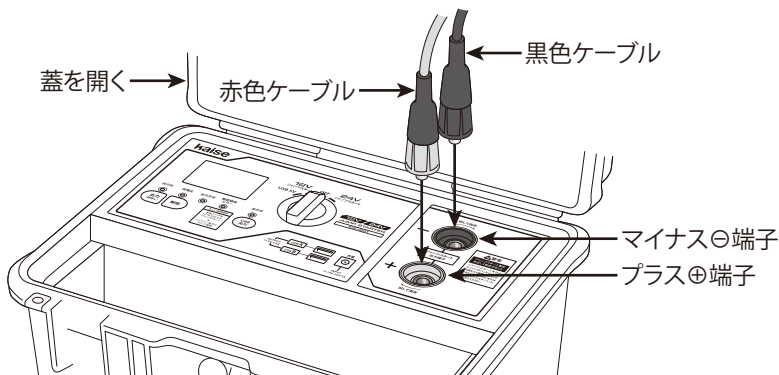
オートパワーセーブ機能

ファンクションスイッチを12Vまたは24Vジャンプスタートの位置に合わせて正常に起動後、30分間以上ジャンプスタート出力が行われない場合、およびジャンプスタート出力停止後、30分間以上ファンクションスイッチがOFFにされない場合は本体の電源が自動的にセーブモードになります。
わずかに待機電流が消費されているため、保管の際は必ずファンクションスイッチをOFFの位置にしてください。

使用方法

- ① 本体を水平で安定した場所に置き、赤色ケーブルの端子を本体のプラス⊕端子に、黒色ケーブルの端子をマイナス⊖端子に差し込み、時計回転にしっかり回して接続します。

※接続前にケーブルの端子が汚れている場合は汚れを取り除いてください。



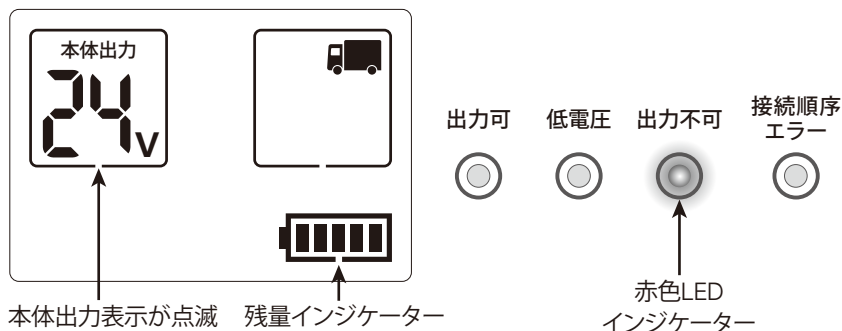
- ② ファンクションスイッチを12Vまたは24Vジャンプスタートの位置に合わせます。

(24V時はブザーが5秒間なります)

LCDが下図の表示になり、出力不可の赤色LEDインジケーターが点灯します。

※ジャンプスタート電圧を正しく設定してください。

※ファンクションスイッチを合わせる前に赤・黒クリップを車両バッテリーに接続しないでください。保護動作が働き、接続順序エラーとなります。



本体出力表示が点滅 残量インジケーター

※ジャンプスタート24V時のLCD表示

使用方法

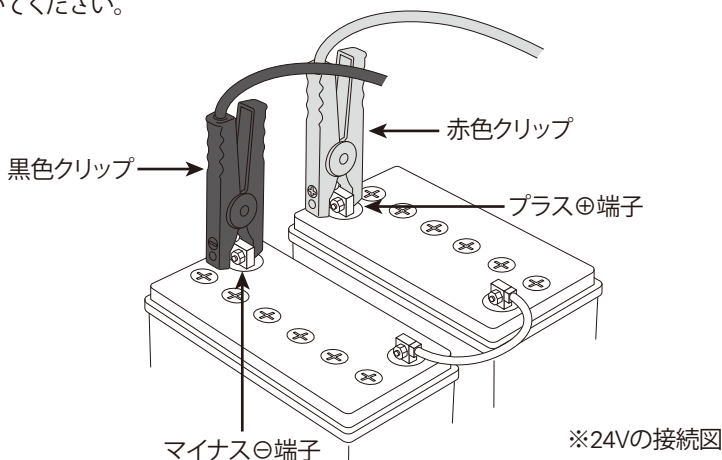
※電圧を検知していない(車両バッテリーと接続していない)状態のため、出力不可の赤色LEDが点灯します。

※残量インジケーターの目盛りが3つ未満の場合は過放電保護が働くため、本体を充電してください。(P25参照)

③付属ワイヤーブラシやウエスなどで、車両バッテリーの端子やクリップ金具の汚れを取り除きます。

④次にケーブルの赤色クリップを車両バッテリーのプラス⊕端子に、次に黒色クリップをマイナス⊖端子にしっかり接続します。

※車両のバッテリー端子およびクリップの金具が汚れている場合は汚れを取り除いてください。



■LEDインジケーター

- 出力可(緑色LED点灯)：ジャンプスタートの準備が整いました。
- 低電圧(黄色LED点灯&ブザー音)：

LCD表示を確認してください。車両側バッテリーの電圧がかなり低い状態です。

※ジャンプスタート電圧を再確認してください。

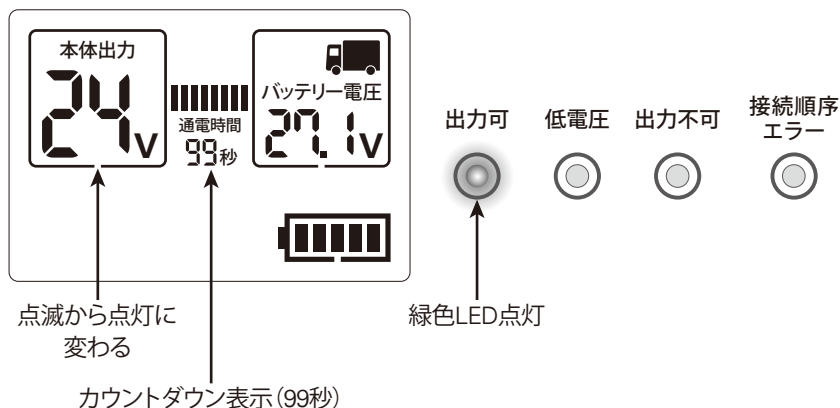
※車両側バッテリーが故障している可能性があります。強制的にジャンプスタートを行う場合は、解除キーを押してください。LEDインジケーターが緑色に変わり、ジャンプスタート準備状態となります。

使用方法

警告

- 本製品は車両バッテリーの応急補助製品です。車両に対して本製品を単体で接続した状態でエンジンを始動しないでください。
- 極度に劣化または深放電しているバッテリーおよび故障バッテリーのジャンプスタートをしないでください。

- 出力不可 (赤色LED点灯 / 保護動作 (LCD表示時) / ブザー音) :
本体がジャンプスタートできない状態、または接続や車両側バッテリーの異常でジャンプスタートができません。LCD表示を確認してください。
- ⑤出力可 (緑色LED点灯) の状態で、出力キーを1.5秒間以上押し続けます。本体のジャンプスタート出力がONになり、99秒間のカウントダウン表示が始まりますので、時間内にエンジンを始動してください。



※ジャンプスタート24V時のLCD表示

- 赤色LED点灯 & ブザー音：ジャンプスタート出力がOFFになりました。
LCD表示を確認し、ファンクションスイッチをOFFの位置に合わせてください。

使用方法

- ⑥ジャンプスタート後はすみやかにファンクションスイッチをOFFの位置に合わせ、下記順序でケーブルの接続を解除します。
1. 車両バッテリーからケーブルの黒色クリップ、赤色クリップの順番で取り外します。
 2. 本体からケーブルの赤色端子、黒色端子を外します。

警告／注意

- 出力キーを押し、本体のジャンプスタート出力がONになっている状態で、赤・黒クリップ間のショートや逆接続は絶対にしないでください。
- 連続してジャンプスタート動作を行う場合は、必ず10分以上の間隔を空けてください。
- 3秒以上クランキングしないでください。この条件でエンジン始動に失敗した場合は、使用を中止してください。
- 本製品は温度が低い場合、放電性能が低下します。ご使用時はなるべく本体温度を常温に近づけてからご使用ください。
- 排気量が大い車両のジャンプスタートを行う場合、可能な限り満充電状態でジャンプスタートを行ってください。
- 付属品に水分が付着している場合は水分を拭き取り、完全に水分を乾かしてからケースに収納してください。また、ケース内に水分が侵入した場合は、水分を拭き取りケースの蓋を開けた状態で放置し、水分が完全に乾いたことを確認してから蓋を閉じてください。水分が付着した状態で蓋を閉めた場合、基板腐食などの故障につながります。
- ワイヤーブラシはブリストアパックから出した状態で本体ケース内に保管しないでください。また、本体ケース内部に付属品のケーブル被覆などを傷つけるおそれのある物を一緒に収納しないでください。被覆を傷つけ断線させたり、端子をショートさせる原因となります。

使用方法

3. USB 5V出力

警告／注意

P1～P6の警告および注意事項をよくお読みのうえ、その内容を厳守してご使用ください。

USB 5Vを電源とする直流機器の電源として使用できます。

- ① 本体を水平で安定した場所に置き、ファンクションスイッチをUSB 5Vに合わせます。USB出力の緑色LEDインジケーターが点灯します。
- ② 市販のUSB 5V機器や携帯端末などの充電ケーブルを、本体のUSB出力端子（AまたはB）に差し込み接続します。USB出力キーを押すと出力が開始します。
※2つのUSB出力端子を同時に使用することができます。
- ③ 使用後はファンクションスイッチをOFFにして、本体と機器の接続を解除してください。

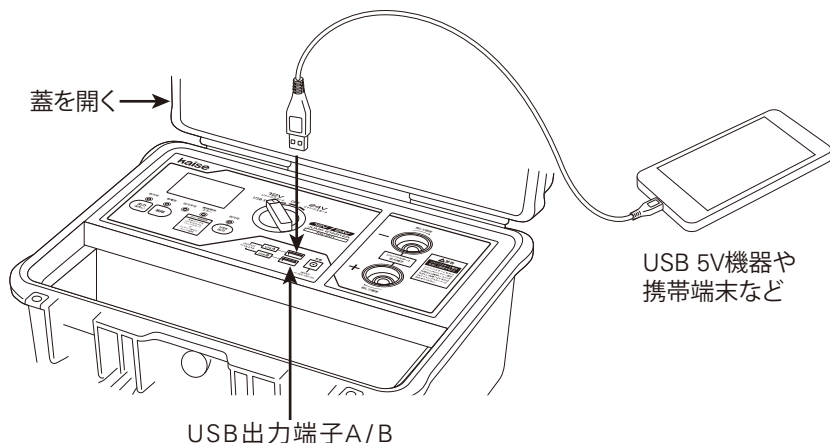
※機器によっては出力できない場合があります。

※定格を超えた機器に接続したり定格を超えた出力を行った場合や、出力を短絡した場合は、本体の過電流保護が働き使用できなくなります。

（赤色LEDインジケーター点灯および過電流保護表示 + ブザー音）

※本体電池残量が0%になった場合は、本体の過放電保護が働き使用できなくなります。その場合は充電を行うことで復帰します。

使用方法



- ジャンプスターターケーブルで本体と車両バッテリーを接続している状態（11.5V以上の電圧が印加された状態）では、ファンクションスイッチ設定時に本体の保護機能が作動し、USB 5V出力は使用できません。保護機能が作動した場合は、一旦、ファンクションスイッチをOFFにし、ジャンプスターターケーブルを取り外した後に、再度ファンクションスイッチを設定してください。

保護機能動作時の状態：赤色LED点灯 / 黄色LED（接続順序エラー）点灯 /
LCD消灯 / ブザー音無し

- 本体と車両バッテリーを接続していない状態（電圧を印加していない状態）で上記動作となる場合は本体が故障しています。直ちに接続している機器を取り外し、ファンクションスイッチをOFFの位置に合わせて使用を中止し、カイセ株式会社 製造サービス課にお問い合わせください。

1. 本体の充電

警告／注意

- P1～P6の警告および注意事項をよくお読みのうえ、その内容を厳守してご使用ください。
- 市販のソーラーパネルを使用して充電を行う場合、出力電圧が14V～25V以内の製品を選択し、充電プラグが本製品の入力端子形状に合ったものを使用して、本体は天候変化の影響の受けない場所に置いて充電を行ってください。
- 充電時にブザー音およびLCDに低電圧が表示する場合は、内部の電池電圧が充電できない状態まで低下しています。直ちに接続している充電プラグを外し、使用を中止して、カイセ株式会社製造サービス課へお問い合わせください。(カイセ株式会社 製造サービス課 TEL:0268-35-1602)

本体を水平で安定した場所に置き、ファンクションスイッチがOFFになっていることを確認してください。

■家庭用コンセントによる充電

- ①付属の906 AC充電器のDCプラグを本体の充電器接続端子に差し込みます。
- ②906 AC充電器を家庭用コンセントに差し込みます。
※必ず906 AC充電器と本体を接続した後コンセントに差し込んでください。
- ③本体の充電が開始され、残量インジケーターが点滅します。
- ④充電が終了すると残量インジケーターが5つ点灯になります。
- ⑤充電終了後は、本体と家庭用コンセントの接続を解除してください。

■市販ソーラーパネルによる充電

- ①本体を天候変化の影響を受けない場所に置きます。
※野外的場合、設置場所が高温にならないか確認し、雨などに注意して充電を行ってください。
- ②市販ソーラーパネルの本製品入力端子形状にあった充電プラグを、本体の充電機器接続端子に差し込みます。

保守管理

- ③市販ソーラーパネルを設置し、太陽光へ向けます。
- ※市販ソーラーパネル側の充電出力ケーブルが接続式である場合は、接続箇所が雨などで濡れないように注意してください。
- ④本体の充電が開始され、残量インジケーターが点滅します。
- ※天候などや市販ソーラーパネルの向きなどにより、本体の充電が開始されない場合があります。
- ⑤充電が終了すると残量インジケーターが5つ点灯になります。
- ※天候などや市販ソーラーパネルの向きなどにより、充電が終了しない(満充電にならない)場合があります。
- ※満充電までの充電時間は、市販ソーラーパネルの発電量により変化します。
- ⑥充電終了後は、本体と市販ソーラーパネルの接続を解除してください。

2. 保管方法

警告/注意

P1～P6の警告および注意事項をよくお読みのうえ、その内容を厳守してご使用ください。

- 付属品に水分が付着している場合は水分を拭き取り、完全に水分を乾かしてからケースに収納してください。また、ケース内に水分が侵入した場合は、水分を拭き取りケースの蓋を開けた状態で放置し、水分が完全に乾いたことを確認してから蓋を閉じてください。水分が付着した状態で蓋を閉めた場合、基板腐食などの故障につながります。
- ワイヤーブラシはブリストルパックから出した状態で本体ケース内に保管しないでください。また、本体ケース内部に付属品のケーブル被覆などを傷つける可能性のある物を一緒に収納しないでください。被覆を傷つけ断線させたり、端子をショートさせる原因となります。
- 本体ケースの開閉合わせ目に、物が挟まっている状態で保管しないでください。防塵・防水性能が機能しなくなります。
- 保管の際は蓋を閉じ、ロックレバーを下げて爪を引っかけ、ロックをしてください。

保守管理

- 本体ケース蓋部に取りついているゴムパッキンに、オイルなどのゴムを劣化させる液体や薬品を付けないでください。ゴムパッキンが汚れたときには、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。ゴムパッキンに異物が付着していたり、傷等があると防塵・防水性能が保てません。ゴムパッキンが劣化した場合は、交換が必要になります。

本体バッテリーを長持ちさせる長期保管の方法

- 放電状態での長期保管はバッテリーの劣化に繋がるため、3ヶ月に1回程度の充電を推奨します。充電は満充電まで行ってください。
- 直射日光を避け、涼しく湿気の少ない場所に保管してください。

内蔵電池についての使用期間

内蔵電池の特性として保存をしているだけでも経年劣化が進行します。サイクル寿命未満のご使用でも内蔵電池の寿命を迎える場合があります。

3. 部品交換

防塵・防水ゴムパッキン部品の交換について

- 防塵・防水性能は永続的なものではなく、使用や保管とともに徐々に劣化します。
- 防塵・防水ゴムパッキン部品は、防塵・防水効果を維持するため、汚れや異常の有無にかかわらず、2年ごとに交換してください。環境が悪い場所で頻繁に使用されている場合は、1年ごとの交換をお勧めします。
- 防塵・防水ゴムパッキン部品に異物・汚れが付着していたり、傷などがあると防塵・防水の機能が維持できません。異物・汚れが取れないときや、傷などがあるときは防塵・防水ゴムパッキン部品を交換してください。

※防塵・防水ゴムパッキン部品の交換については、カイセ株式会社製造サービス課へお問い合わせください。

(カイセ株式会社 製造サービス課 TEL:0268-35-1602)

故障かな?という場合に

故障かな?という場合には、以下の症状、原因と処置をご参照ください。
本製品について、わからない点やご質問、故障の場合は、お買い上げの
販売店またはカイセ株式会社にお問い合わせください。

症 状

電源が
入らない

原 因 と 処 置

- 本体の充電量が低下している。または過放電保護が働いている。

→本体の充電を行ってください。(P23 参照)

- ジャンプスタート出力端子と車両バッテリー間をジャンプスターターケーブルで接続した状態で、ファンクションスイッチを各機能に設定している。

→本体と車両バッテリーの接続を解除してから、ファンクションスイッチを設定してください。

- 温度保護が働いている

→本体を使用温度範囲内にしてから使用してください。

USB 5V
出力が
使えない

- ファンクションスイッチがOFFの位置となっている。

→ファンクションスイッチをUSB 5Vの位置に合わせてください。

- 本体とUSB 5V機器の接続がしっかりと行われていない。

→端子とコネクターの接続を確認してください。
(P21 参照)

- USB出力キーを押していない。

→USB出力にはUSB出力キーを押してください。

故障かな?という場合に

症 状

ジャンプスタート
ができない

原 因 と 処 置

- ファンクションスイッチがOFFの位置となっている。
→ファンクションスイッチを12Vまたは24Vジャンプスタートの位置に合わせてください。
- エアコンやヘッドライトなどの負荷がかかっている。
→ジャンプスタート時は本体の負荷を抑えるために、エアコンやヘッドライトなどの電装品をOFFにしてください。
- 車両バッテリーが極度に劣化している。
→車両バッテリーが極度に劣化している場合は、ジャンプスタートはできません。
- 本製品の対応車ではない。
→本製品の対応車は、排気量6000cc以下の12Vエンジン(ガソリン/ディーゼル)、17000cc以下の24Vディーゼルエンジンとなります。
- 始動に必要な電流が本製品の仕様を超過している
→対応車両であり接続方法が正しくても、車両の状態や仕様、環境によっては放電能力が足りずにジャンプスタートできない場合があります。
- 過放電保護が働いている
→本体を充電して、残量インジケーターの目盛りを3つ以上にしてください。
- 出力キーを長押ししていない。
→出力するには出力キーの長押しが必要です。
出力されるまで1.5秒間以上長押ししてください。
- バッテリーターミナルなどが汚れている。
→バッテリーターミナルなどが汚れているとジャンプスタート出力性能が低下します。バッテリーターミナルの汚れを取り除いて、接触を良くしてください。

故障かな?という場合に

症 状

ジャンプスタート
ができない



原 因 と 処 置

- 本体温度が低温になっている。
→本体温度が低温になっている場合はジャンプスタート出力性能が低下します。本体温度を可能な限り常温 (25℃) に近づけて出力してください。
- 充電量が低下している。
→ジャンプスタートできない場合は、充電量を可能な限り満充電にして出力してください。

充電が
できない



- ファンクションスイッチがOFF以外の位置となっている。
→充電を行う場合はファンクションスイッチをOFFの位置に合わせてください。
- 充電機器側からの出力が出ていない。
→充電機器側の接続や状態を確認してください。
- 温度保護が働いている。
→本体を充電温度範囲内にしてから充電してください。

品質保証規定

品質保証期間中に説明書に則った正しい使用状態において、万一故障が生じた場合には、無償で修理いたします。ただし、下記事項に該当する故障・破損は無償修理の対象から除外し、有償修理となります。

記

1. 取扱説明書に基づかない不適当な取り扱い、または使用による故障。
2. カイセ特約サービス代理店、または当社サービス部門以外でなされた修理、または改造に起因する故障。
3. お買い上げ後の輸送または落下などによって生じた故障。
4. 火災、水害、地震など天災地変によって生じた故障・破損。
5. ケーブル類の破損、内部バッテリーの劣化。
防塵・防水ゴムパッキン部品の劣化。
6. 本製品の防塵・防水性能は、IP67の適合試験に合格していますが完全な防水ではありません。防塵・防水性能は永久的には持続せず、製品の使用状態に左右されるため、保証対象外です。
7. 品質保証書の提出がない場合。
8. その他、当社の責任とみなされない故障。
9. 本証明書は日本国内においてのみ有効です。

修理依頼	年 月 日
故障の症状 故障の原因 (わかったら)	

品質保証書

MODEL KG-201	Serial No.		
品質保証期間	購入日	年	月 日から1ヵ年
販売代理店および所在地			
印			

- ※品質保証期間中に正常な使用状態で、万一故障などが生じた場合は、裏面記載の品質保証規定により無償で修理いたします。製品にこの品質保証書を添えて、上記販売代理店、または直接カイセ株式会社製造サービス課へご送付ください。
- ※購入年月日は販売代理店が記入します。販売代理店名およびその押印なき品質保証書は無効となりますので、購入時に確認してください。

カイセ株式会社



〒386-0156 長野県上田市林之郷422 電話 0268-35-1600(代表)

お問い合わせ先・ホームページのご案内

本製品について、わからない点やご質問、故障の場合は、お買い上げの販売店またはカイセ株式会社へお問い合わせください。

修理のお問い合わせ、送付先

カイセ株式会社

製造サービス課

〒386-0156 長野県上田市林之郷422

TEL (0268) 35-1602 / FAX (0268) 35-5515

Email : service@kaise.com

カイセ株式会社のホームページより、12V/24Vジャンプスターター（型式：KG-201）の製品情報の閲覧、ユーザー登録をすることができます。以下のURLにアクセスし、希望ページへおすすみください。

1. カイセ株式会社ホームページ URL

<https://www.kaise.com>



2. 12V/24Vジャンプスターター（型式：KG-201）製品ページ URL

https://www.kaise.com/j_car_kg201.html



3. ユーザー登録ページ URL

下記にアクセスし、ジャンプスターター →

KG-201 12V / 24Vジャンプスターターをクリック

https://www.kaise.com/j_user.html



www.kaise.com



Li-ion 32

使用後はリサイクルへ

kaise

カイセ株式会社

■製品・修理に関するお問い合わせ…

製造サービス課：TEL 0268-35-1602 FAX 0268-35-5515

〒386-0156 長野県上田市林之郷422

TEL 0268-35-1600(代) FAX 0268-35-1603

E-mail service@kaise.com

※本製品に内蔵されている充電式電池はリサイクルできます。充電式電池の
取り外しはお客様が行わず、取扱説明書記載の窓口へご連絡ください。

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。